

2017年3月期
第2四半期

決算説明会資料

2016年11月2日

(株)フジ・メディア・ホールディングス

本資料には当社及び当社の関係会社・出資先企業の見通し、目標、予想数値など、将来に関する記述が含まれている場合がありますが、実際の業績は今後の事業運営、経済情勢、金融市場その他の状況変化等さまざまな要因により大きく異なる可能性があります。

2017年3月期 第2四半期 連結決算概要(累計)

2016/4 ~ 2016/9

(単位:百万円)

	前 期	当 期	対前期増減		2Q累計 業績予想 (5/12)	対予想増減	
売 上 高	311,736	327,601	15,864	5.1%	333,700	6,098	1.8%
営 業 利 益	4,905	13,301	8,395	171.1%	11,200	2,101	18.8%
経 常 利 益	8,170	17,735	9,565	117.1%	14,200	3,535	24.9%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	5,079	12,732	7,652	150.7%	9,000	3,732	41.5%

セグメント別の売上高及び営業利益(累計)

2016/4 ~ 2016/9

(単位:百万円)

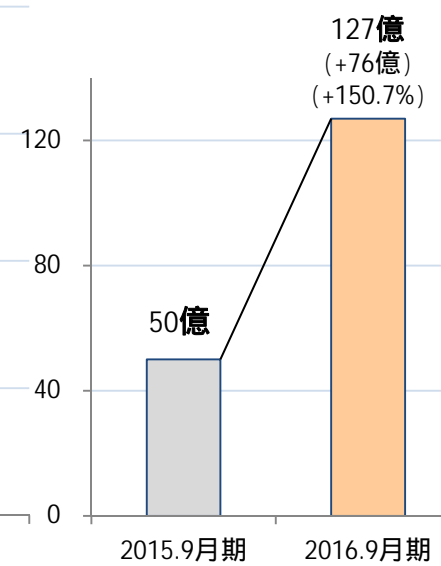
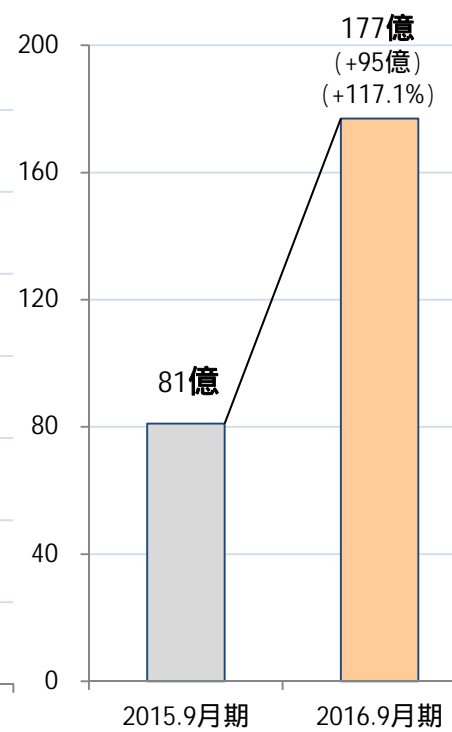
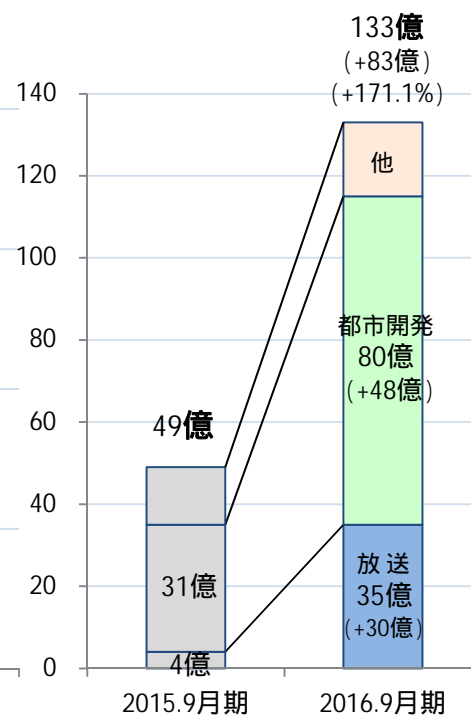
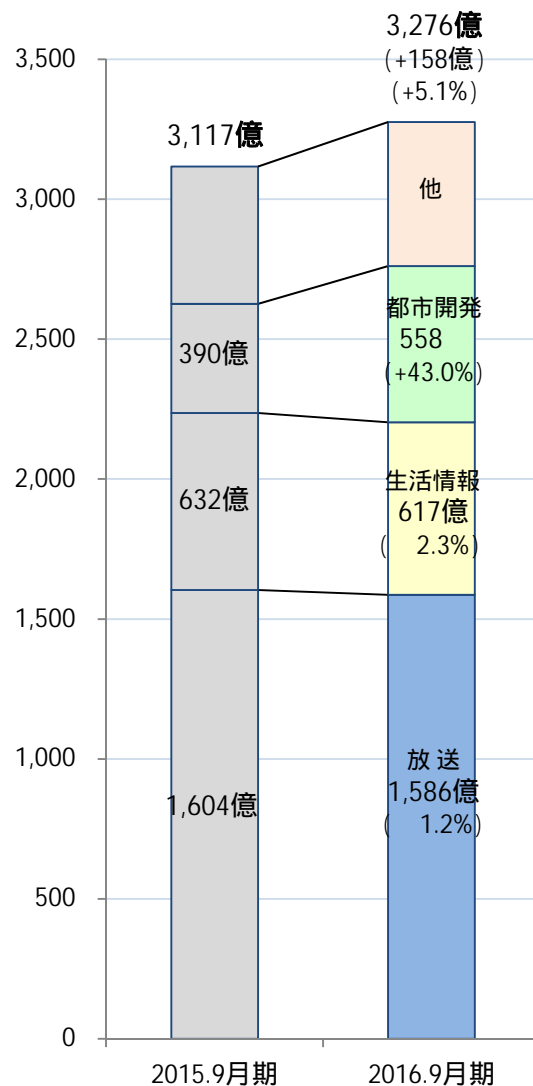
	事業セグメント										合計	調整額	連 損 計 算 上	結 益 書 額
	放 送 事 業	制 作 事 業	映 音 事 業	像 楽 業	生 情 事 業	活 報 業	広 告 事 業	都 開 事 業	市 発 業	そ の 他 事 業				
売上高	当 期	158,641	24,186	23,134	61,738	22,199	55,893	14,181	359,975	32,374	327,601			
	前 期	160,492	26,494	23,862	63,208	19,899	39,094	12,892	345,945	34,208	311,736			
	増 減	1,850	2,308	727	1,470	2,299	16,799	1,289	14,030	1,834	15,864			
	増減%	1.2%	8.7%	3.0%	2.3%	11.6%	43.0%	10.0%	4.1%	-	5.1%			
営業利益	当 期	3,512	1,008	180	24	132	8,039	351	13,200	100	13,301			
	前 期	442	1,442	139	478	108	3,157	272	4,805	100	4,905			
	増 減	3,070	433	320	454	23	4,882	78	8,395	0	8,395			
	増減%	694.6%	30.1%	-	-	21.8%	154.7%	28.7%	174.7%	-	171.1%			

2017年3月期 第2四半期 連結決算概要(前期比較)

< 主要会社 営業利益内訳 >

(単位: 億円)

主要社	前期	当期	差額
フジテレビ	10	23	33
サンケイビル	17	61	44
グランビスタ	21	17	3
BSフジ	12	11	0
ディノス・セシール	1	0	1
ホニーキャニオン	3	2	0



売上高

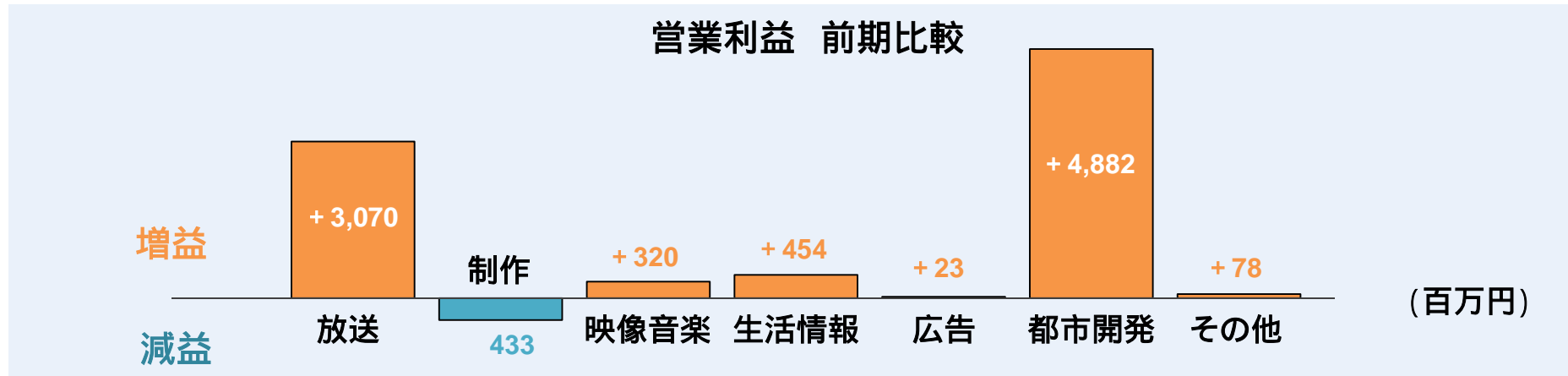
営業利益

経常利益

親会社株主に帰属する
四半期純利益

第2四半期決算(4月-9月)のポイント

連結営業利益133億円 増収で大幅な増益



フジテレビ

- 放送収入の減収をカバー、ほぼ予想通りの利益
- イベント、映画事業等が貢献
- 引きつづき着実に費用をコントロール

生活情報 (ディノス・セシール)

- 営業損益は前年より改善、予想を上回る
- ディノス事業 テレビ通販の好調つづく
- セシール事業 主力商品の販売が堅調

映像音楽 (ポニーキャニオン)

- パッケージ販売は減収、利益面は改善
- ノンパッケージ中心へ、構造改革を進める

都市開発 (サンケイビル/グランビスタ)

- 予想を上回る大幅な増益
ビル、住宅、資産開発の各事業とも堅調
- グランビスタは改修工事(7月まで)の影響で減益

セグメント情報(連結子会社)

セグメント	会社名	会社数
放送	フジテレビジョン、ビーエスフジ、ニッポン放送	3社
制作	フジクリエイティブコーポレーション、共同テレビジョン、バスク、フジ・メディア・テクノロジー、NEXT EP、フジアール、バンエイト、共同エディット、ベイス	9社
映像音楽	フジ・ミュージックパートナーズ、ポニーキャニオン、ポニーキャニオンエンタープライズ、エグジットチューンズ、フジパシフィックミュージック、シンコーミュージック・パブリッシャーズ、FUJI MUSIC GROUP、ARC MUSIC、ARC/CONRAD MUSIC	9社
生活情報	サンケイリビング新聞社、ディノス・セシール、リビングプロシード、ディノス・セシールコミュニケーションズ	4社
広告	クオラス	1社
都市開発	サンケイビル、グランビスタホールディングス、 甲子園開発 、サンケイ会館、グランビスタホテル&リゾート、サンケイビルウェルケア、サンケイビルテクノ、サンケイビルマネジメント、 SKB USA 、 SKB Seattle	10社
その他	扶桑社、フジミック、ニッポン放送プロジェクト、 フジゲームス 、フジキャリアデザイン、FUJISANKEI COMMUNICATIONS INTERNATIONAL	6社
合計		42社

赤色は当期から連結

<セグメント詳細> 放送事業 会社別概要(累計)

2016/4 ~ 2016/9

(単位:百万円)

	売上高			営業利益		
	前期	当期	前期比	前期	当期	前期比
フジテレビジョン	146,629	144,165	2,464 (1.7%)	1,016	2,305	3,322 (-)
ニッポン放送	7,094	7,092	1 (0.0%)	218	79	138 (63.7%)
ビーエスフジ	7,830	8,340	509 (6.5%)	1,239	1,171	68 (5.6%)
セグメント内修正等	1,062	957	-	0	43	-
合 計	160,492	158,641	1,850 (1.2%)	442	3,512	3,070 (694.6%)

<セグメント詳細> 制作事業 会社別概要(累計)

2016/4 ~ 2016/9

(単位:百万円)

	売上高			営業利益		
	前期	当期	前期比	前期	当期	前期比
共同テレビジョン	8,460	7,211	1,248 (14.8%)	194	186	8 (4.2%)
フジクリエイティブ コーポレーション	6,571	6,271	299 (4.6%)	301	422	121 (40.3%)
その他及び セグメント内修正等	11,462	10,702	-	947	400	-
合 計	26,494	24,186	2,308 (8.7%)	1,442	1,008	433 (30.1%)

<セグメント詳細> 映像音楽事業 会社別概要(累計)

2016/4 ~ 2016/9

(単位:百万円)

	売上高			営業利益		
	前期	当期	前期比	前期	当期	前期比
ポニーキャニオン	16,964	15,885	1,079 (6.4%)	335	269	65 (-)
その他及び セグメント内修正等	6,897	7,249	-	195	450	-
合 計	23,862	23,134	727 (3.0%)	139	180	320 (-)

<セグメント詳細> 生活情報事業 会社別概要(累計)

2016/4 ~ 2016/9

(単位:百万円)

	売上高			営業利益		
	前期	当期	前期比	前期	当期	前期比
ディノス・セシール	55,719	54,335	1,384 (2.5%)	158	3	161 (-)
サンケイリビング新聞社	4,873	4,785	87 (1.8%)	371	148	222 (-)
その他及び セグメント内修正等	2,616	2,616	-	50	120	-
合 計	63,208	61,738	1,470 (2.3%)	478	24	454 (-)

<セグメント詳細> 広告事業 会社別概要(累計)

2016/4 ~ 2016/9

(単位:百万円)

	売上高			営業利益		
	前期	当期	前期比	前期	当期	前期比
クオラス	19,899	22,199	2,299 (11.6%)	109	132	23 (21.8%)
セグメント内修正等	-	-	-	0	0	-
合計	19,899	22,199	2,299 (11.6%)	108	132	23 (21.8%)

<セグメント詳細> 都市開発事業 会社別概要(累計)

2016/4 ~ 2016/9

(単位:百万円)

	売上高			営業利益		
	前期	当期	前期比	前期	当期	前期比
サ ン ケ イ ビ ル	19,404	36,586	17,182 (88.5%)	1,729	6,158	4,428 (256.0%)
グ ラ ン ビ ス タ ホ テ ル & リ ゾ ー ト	15,104	14,423	680 (4.5%)	2,117	1,744	372 (17.6%)
そ の 他 及 び セ グ メ ン ト 内 修 正 等	4,585	4,883	-	690	137	-
合 計	39,094	55,893	16,799 (43.0%)	3,157	8,039	4,882 (154.7%)

営業外収益・費用の主な内容(累計)

2016/4 ~ 2016/9

(単位:百万円)

	前 期	当 期	対前期増減	
営業外収益				
受取配当金	1,254	1,549	295	23.6%
持分法による 投資利益	1,826	2,048	221	12.1%
その他	1,983	2,036	52	2.7%
営業外収益合計	5,064	5,635	570	11.3%
営業外費用				
支払利息	888	760	127	14.4%
投資事業組合 運用損	409	211	197	48.3%
その他	501	228	273	54.5%
営業外費用合計	1,800	1,201	599	33.3%

特別利益・損失の主な内容(累計)

2016/4 ~ 2016/9

(単位:百万円)

		前 期	当 期	対前期増減	
特 別 利 益					
	固 定 資 産 売 却 益	0	46	46	-
	投 資 有 価 証 券 売 却 益	2	45	43	-
	そ の 他	2	1	0	15.4%
特 別 利 益 合 計		4	93	89	-
特 別 損 失					
	減 損 損 失	133	702	569	428.2%
	建 替 関 連 損 失	95	394	299	315.2%
	そ の 他	270	341	71	26.4%
特 別 損 失 合 計		498	1,439	940	188.7%

フジテレビの業績

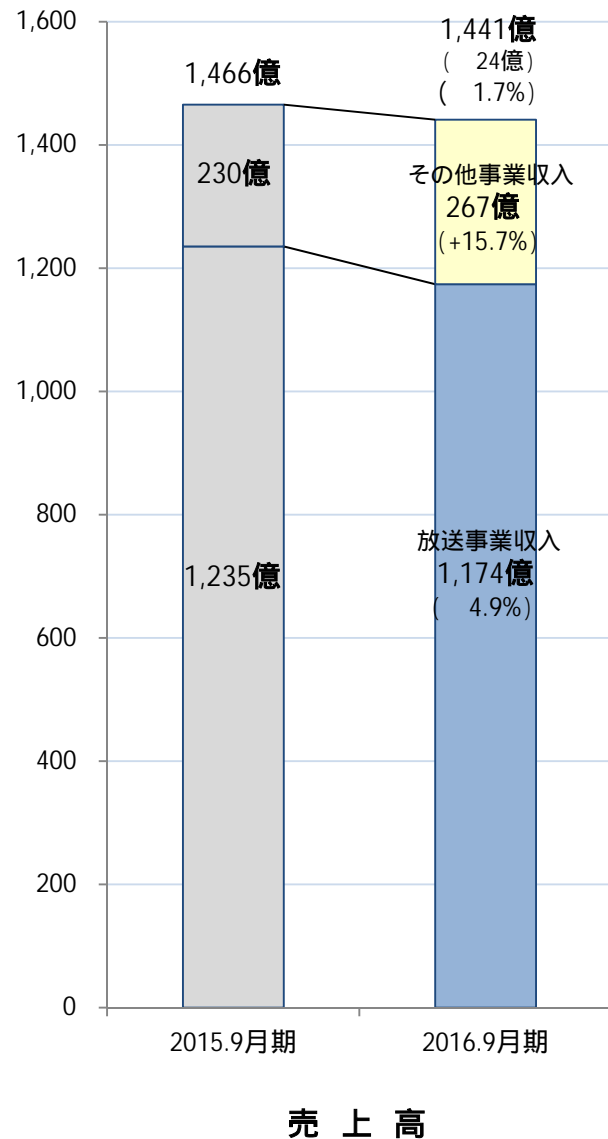
2017年3月期 第2四半期 フジテレビ決算概要

2016/4 ~ 2016/9

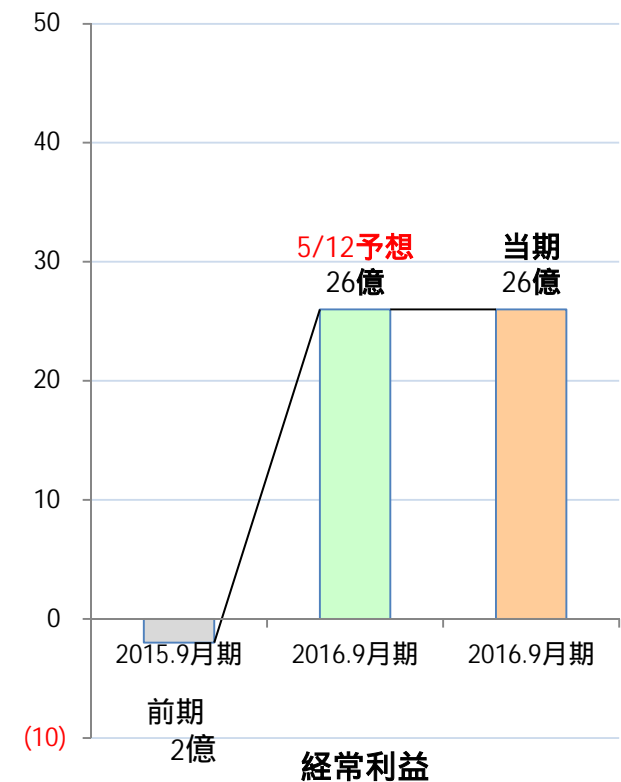
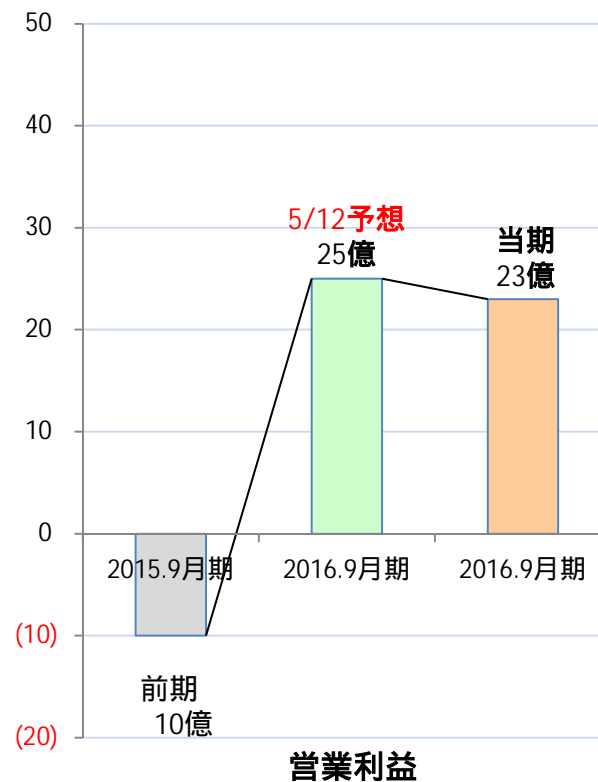
(単位:百万円)

	前期	当期	対前期増減		業績予想(5/12開示)		対予想増減額
					(通期)	(第2四半期累計)	
売上高	146,629	144,165	2,464	1.7%	(通期)	294,200	
					(第2四半期累計)	146,800	2,634
営業利益	1,016	2,305	3,322	-	(通期)	10,000	
					(第2四半期累計)	2,500	194
経常利益	203	2,670	2,874	-	(通期)	10,100	
					(第2四半期累計)	2,600	70
四半期純利益	247	1,647	1,895	-	(通期)	6,400	
					(第2四半期累計)	1,500	147

2017年3月期 第2四半期 フジテレビ決算概要(前期比較)



営業利益	4-6月	7-9月	4-9月
当期実績	4.6億	2.3億	2.3億
前期実績	3.6億	4.6億	1.0億



放送事業 収入と原価(4月～9月)

(単位:百万円)

	当期	対前期増減	
放送事業収入	117,447	6,090	4.9%
放送収入	100,608	6,490	6.1%
ネットタイム	45,421	4,260	8.6%
ローカルタイム	6,420	520	7.5%
スポット	48,766	1,709	3.4%
その他 放送事業収入	16,838	399	2.4%
番組販売	8,648	220	2.5%
CS放送・その他	8,189	620	8.2%
放送事業原価	82,547	5,456	6.2%

スポット収入 業種別動向

2016年7月～9月

管理ベース

業種	前年シェア	シェア	対前期増減
化粧品・トイレットリー	14.2%	15.8%	5.5%
情報・通信・放送	14.9%	13.1%	16.7%
非アルコール飲料	8.3%	8.6%	2.5%
食品	7.5%	8.5%	6.8%
出版・エンタテインメント	7.7%	7.4%	8.7%
自動車・関連品	6.6%	6.3%	9.6%
外食・各種サービス	6.6%	5.6%	19.7%
医薬品・医療用品	5.8%	5.6%	9.2%
金融・保険	4.6%	5.3%	7.8%

業種	前年シェア	シェア	対前期増減
流通・小売業	3.2%	4.3%	26.5%
衣料・身回品・雑貨	3.7%	3.2%	17.5%
不動産・住宅設備	2.5%	3.1%	18.8%
アルコール飲料	3.7%	2.9%	25.2%
事務・精密・光学機器	4.4%	2.8%	41.0%
交通・レジャー・観光	3.0%	2.4%	23.2%
電話サービス	2.0%	2.0%	8.7%
家電・AV機器	0.9%	1.4%	44.2%
エネルギー・機械	0.0%	0.4%	-
その他	0.4%	1.5%	244.3%

番組制作費

(単位:百万円)

	前期	当期	増減
第1四半期	22,206	21,599	2.7%
第2四半期	27,307	23,619	13.5%
上期	49,514	45,218	8.7%
第3四半期	22,881		
第4四半期	20,840		
下期	43,722		
通期	93,236		

自社制作番組及び購入番組の直接費

その他事業 収入と原価(4月～9月)

(単位:百万円)

	当期	対前期増減	
その他事業収入	26,718	3,626	15.7%
催物事業収入	12,060	4,499	59.5%
映画事業収入	4,959	366	8.0%
デジタル事業収入	3,642	280	7.2%
MD事業収入	2,721	434	13.8%
ビデオ事業収入	1,141	513	31.0%
その他の収入	2,192	11	0.5%
その他事業原価	21,763	1,960	9.9%

販管費及び営業外損益概要(4月～9月)

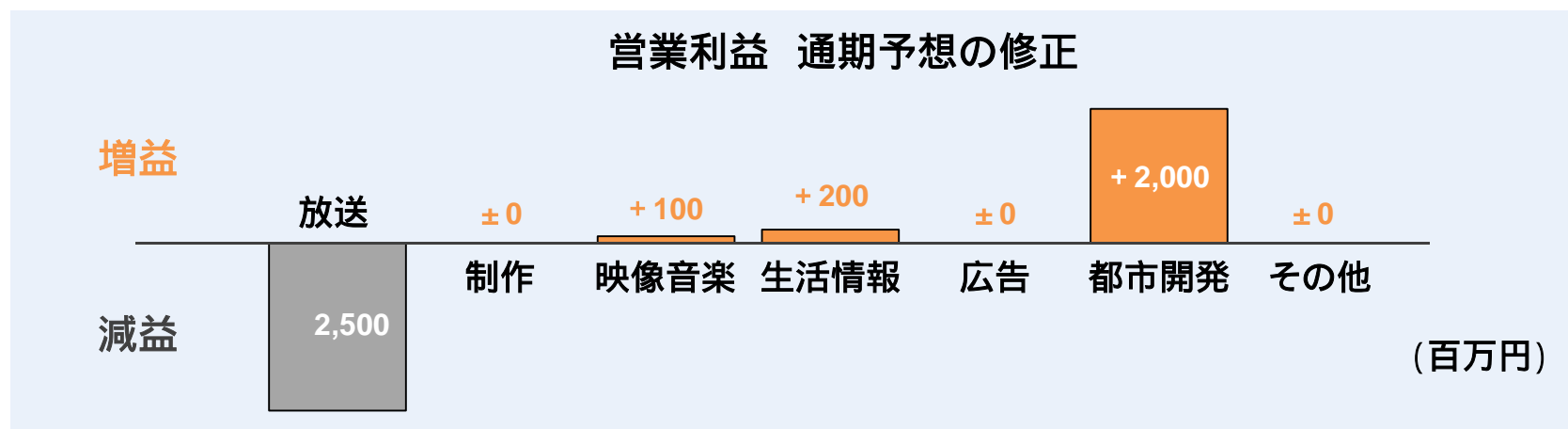
(単位:百万円)

	当期	対前期増減	
販売費及び 一般管理費	37,548	2,290	5.7%
販売費	26,490	1,908	6.7%
一般管理費	11,057	382	3.3%
営業費用合計	141,859	5,786	3.9%
営業利益	2,305	3,322	-
営業外収益	509	439	46.3%
営業外費用	144	8	6.1%
経常利益	2,670	2,874	-

2017年3月期
業績予想

業績予想修正のポイント

通期の連結営業利益予想272億円は修正なし
 フジテレビの見込みを引き下げ
 都市開発、生活情報、映像音楽を上方修正



フジテレビ

- 放送収入の見込みを下方修正
- その他事業は通期で期初計画以上の貢献を期待
- 効率的なコスト運用を継続

都市開発 (サンケイビル/グランビスタ)

- サンケイビル
ビル、住宅、資産開発とも堅調な業績を見込む
- グランビスタ
着実な収益貢献を期待 ホテルは高稼働がつづく

2017年3月期 業績予想の修正

連結	通期予想	前回予想	増減額	(単位:百万円)
売上高	663,200	670,500	7,300	
営業利益	27,200	27,200	0	
経常利益	34,400	33,000	1,400	
親会社株主に帰属する 当期純利益	24,500	23,000	1,500	

フジテレビ	通期予想	前回予想	増減額	(単位:百万円)
売上高	288,300	294,200	5,900	
営業利益	7,500	10,000	2,500	
経常利益	7,900	10,100	2,200	
当期純利益	4,900	6,400	1,500	

	下期予想	前回予想	通期予想	前回予想	(前期比)
ネットタイム	4.1%	0.3%	6.4%	3.0%	
ローカルタイム	7.9%	7.9%	7.7%	8.6%	
スポット	2.0%	4.2%	0.6%	2.3%	
放送収入合計	1.2%	1.8%	3.7%	0.8%	

セグメント別業績予想【通期】

2016/4 ~ 2017/3

(単位:百万円)

	事業セグメント									合計	調整額	連損計算上 結益書額
	放送事業	制作事業	映像音楽事業	生活情報事業	広告事業	都市開発事業	その他事業					
売上高	通期予想	318,200	48,900	50,300	135,100	43,000	103,800	28,500	727,800	64,600	663,200	
	前回予想	323,100	50,600	54,100	137,500	43,000	101,900	26,100	736,300	65,800	670,500	
	増減額	4,900	1,700	3,800	2,400	0	1,900	2,400	8,500	-	7,300	
営業利益	通期予想	10,100	1,900	1,800	1,800	400	10,500	700	27,200	0	27,200	
	前回予想	12,600	1,900	1,700	1,600	400	8,500	700	27,400	200	27,200	
	増減額	2,500	0	100	200	0	2,000	0	200	-	0	

設備投資計画と減価償却費

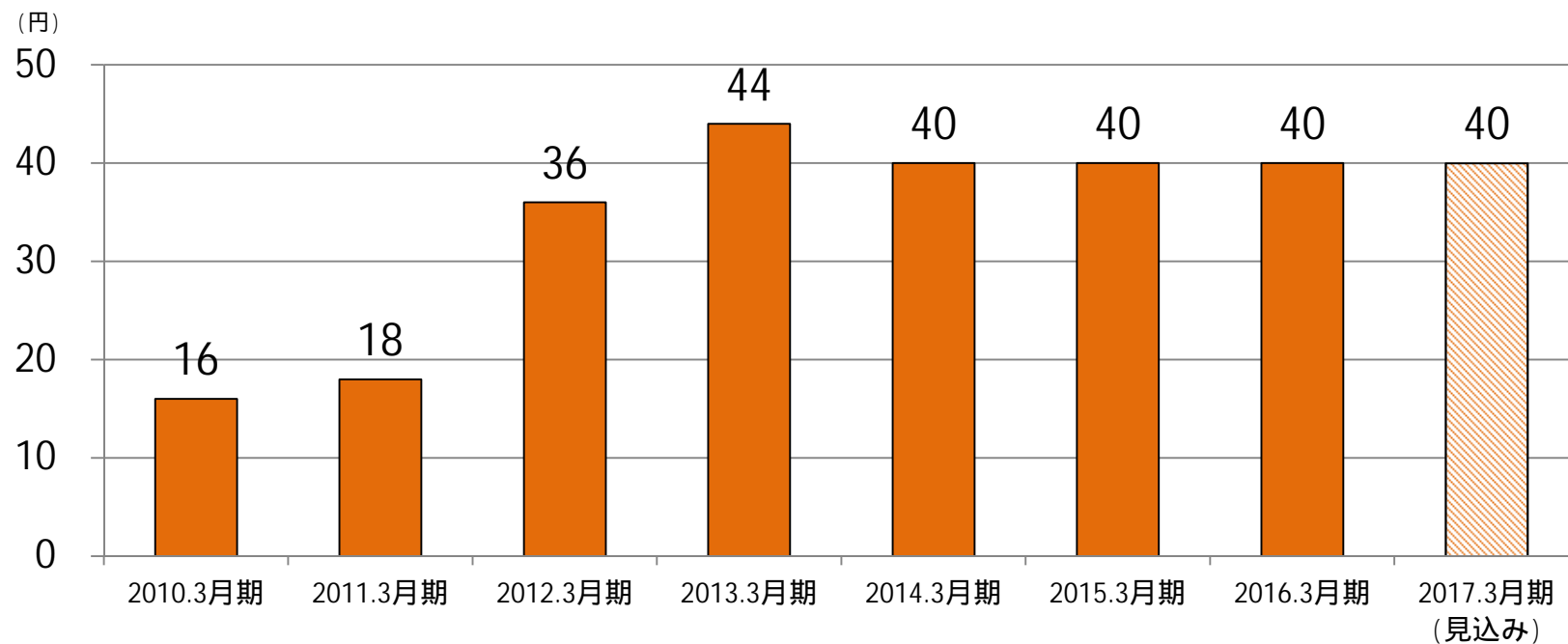
(単位: 百万円)

		2017年3月期		2018年3月期 通期 (計画)
		上期 (実績)	通期 (計画)	
設備投資額	連 結	19,723	45,200	51,300
	フジテレビ	2,120	6,700	11,500
	都市開発事業	14,914	33,000	36,700
	フジ・メディアHD	56	500	500
減価償却費	連 結	9,067	19,600	21,000
	フジテレビ	3,840	8,800	9,200
	都市開発事業	2,439	4,800	5,900
	フジ・メディアHD	1,137	2,400	2,400

株主への利益還元

目標配当性向40%を基本に配当の安定性等を考慮

2017年3月期 年間配当 40円 (変更なし)



単元株制度の導入に伴い、2013年10月1日を効力発生日として1株につき100株の割合で株式分割を行いました。過去の配当実績は分割後の株式数で算定した値を記載しています。

各社の取り組み

フジテレビ 編成

- 10月改編 週末を中心にバラエティ番組を強化
キッズ、ティーン、20歳代～40歳代の主要ターゲット層から
高い支持獲得を目指す

火曜19時



『今夜はナゾトレ』

金曜19時



『その原因、Xにあり!』

日曜19時～20時54分



『フルタチさん』

- 昼帯の「バイキング」、つづく「グッデイ」の視聴率が改善
人気企画の投入と枠構造の変更で4月以降、上昇
- 新視聴率調査の測定がスタート（10月3日～）
 - リアルタイム視聴に加え、タイムシフト視聴も測定
 - 新たな「総合視聴率」の導入で、視聴スタイルの変化に対応した指標へ
【総合視聴率】 = 【リアルタイム視聴率】 + 【タイムシフト視聴率】 - 【重複視聴】

フジテレビ 放送以外の事業

イベント事業

シルク・ドゥ・ソレイユ 「トータム」

東京、大阪公演

累計動員数

86万8,500人の大ヒット

引きつづき、名古屋、福岡、仙台へ
巡演予定(2017年5月まで)



デトロイト美術館展

～大西洋を渡った

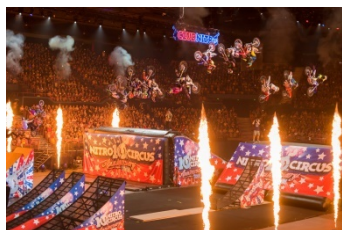
ヨーロッパの名画たち～

2016/10/7～2017/1/21

東京展が好調にスタート



ナイトロ・サーカス 10周年ワールドツアー



世界各地で熱狂と興奮を巻き起こす
アクション・スポーツ エンターテインメント
前回公演からさらにパワーアップ

東京 2017/2/19、2/20 大阪 2017/2/25、2/26

映画事業

下期も豊富なラインナップに期待

10月8日	グッドモーニングショー 『踊る』シリーズ君塚良一監督・脚本の最新作 大ヒット上映中 出演:中井貴一 長澤まさみ 他
12月23日	土竜の唄 香港狂騒曲 前作興収21.9億を記録した、人気コミックの映画化第2弾 出演:生田斗真 他
1月14日	本能寺ホテル 日本史上最大の謎“本能寺の変”をテーマとしたオリジナル 歴史ミステリー 出演:綾瀬はるか 堤真一 他
2月11日	サバイバルファミリー 『ウォーターボーイズ』など数々の大ヒットを生んだ 矢口史靖監督の最新作 出演:小日向文世 深津絵里 他
3月24日	ひるなかの流星 累計170万部突破の人気少女コミックを実写映画化 出演:永野芽郁 三浦翔平 白濱亜嵐 他



「土竜の唄 香港狂騒曲」



「本能寺ホテル」



「サバイバルファミリー」

配信プラットフォーム等に自社作品を提供
安定した収益獲得を目指す

成長分野での取り組み

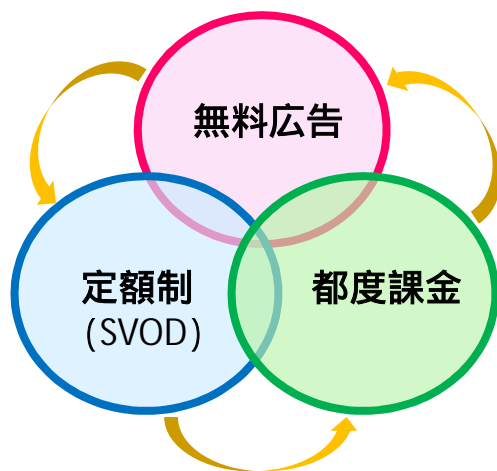
番組配信事業 フジテレビ デジタル事業

自社制作コンテンツを強みに
有料と無料を組み合わせた
ユニークな総合プラットフォームとして地位を確立
事業収支の黒字が定着



有料会員数
80万人

月間利用者数
(無料コンテンツ利用者を含む)
300万人



3種の配信サービスを提供

無料配信の利用者数が順調に増加
有料サービスへの送客を図り
新規有料会員の獲得を目指す

定額制 (SVOD) 配信サービス
「FODプレミアム」(月額888円)
がスタート (8/1~)

最新ドラマ、バラエティなど配信対象の全ての
フジテレビ番組と、国内外の映画・アニメなど、
総計8,000タイトルが見放題

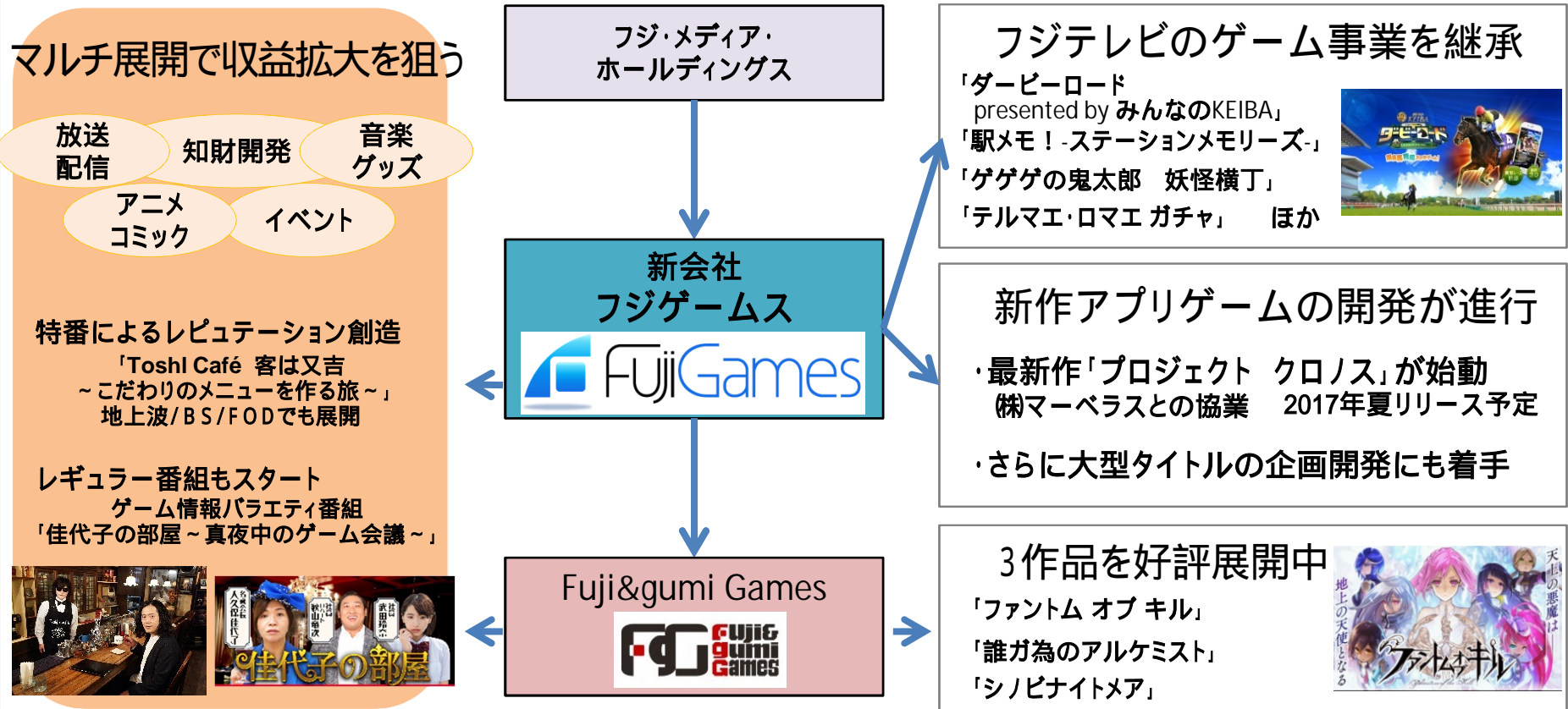
無料広告配信で独自に視聴データを収集、分析
マーケティングニーズに応える新たな広告媒体としての可能性を探る
大手プラットフォームにも番組コンテンツを提供し収益を確保

成長分野での取り組み

ゲーム事業 (株)フジゲームス (2016年4月設立)

「その他事業」セグメント

テレビ局発のゲーム会社として、企画プロデュース力、プロモーション連動等のノウハウを活かし大型作品を開発



フジテレビ以外の主要子会社

放送事業 (BSフジ)

- 放送収入の拡大へ タイムテーブルを強化
強力な新番組・帯番組のセールスが
好調スタート



毎週土曜21時～21時55分
「プライムニュース SUPER」

看板番組
「BSフジLIVE プライムニュース」発
の新番組を土曜夜に投入
新たな視聴者層の開拓を図る

毎週月～木曜 22時～22時55分
「クイズ! 脳ベルSHOW」

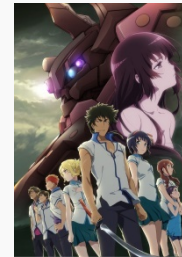
人気のクイズ番組を平日夜の帯番組に
放送枠拡大で
P帯の新たな看板番組へ



- 引きつづき、制作費の効率的な運用を図る

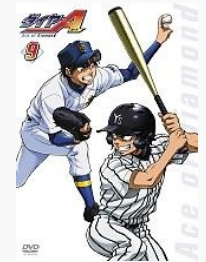
映像音楽事業 (ポニーキャニオン)

- パッケージに頼らない事業構造へ
アニメなど人気作品の製作に参画、幅広く権利を取得
テレビ放送、劇場映画、イベント、ネット配信、MD、
さらに海外展開など収益源が多様化



「クロムクロ」
自社製作作品

大手プラットフォームを通じて
世界で配信
長期間にわたり収益を獲得へ



「ダイヤのA」
制作段階から出資
ライブ、グッズ販売など
多角的に展開

映画「聲の形」
9/17公開

制作段階から出資
Blu-ray/DVD の販売を予定



- パッケージ(CD、DVD)はリリース規模を
最適化 効率的な運用を図る

フジテレビ以外の主要子会社

生活情報事業 (ディノス・セシール)

- **ディノス事業のテレビ通販、セシール事業が貢献し増益**

原価の低減、効率的な販促等が奏功

【ディノス事業】

- 在庫コントロールの強化、不採算カタログの見直しなど収益体質の改善を実行
- テレビ通販は引き続き好調で増収

【セシール事業】

- レディスインナーなど主力商品の販売が堅調に推移

- **eコマースの強化へ、体制整備を加速化**
将来の成長に向けビジネスモデルの進化を目指す

都市開発事業 (サンケイビル/グランビスタ)

- 上期は、ビル事業、住宅事業、資産開発事業、ホテルリゾート事業、いずれも予想を上回る収益

➤ ビル事業・住宅事業

- 都心の好立地を中心に、高機能オフィスビル、賃貸レジデンスを開発
収益基盤の拡大と安定化を図る

➤ ホテルリゾート事業

- 大都市中心部で中規模ホテルを開発
ホテル・観光需要の拡大をとらえ、高い成長を目指す
- グランビスタ 主要ホテルが高稼働率を維持

- P. 31 : Photos: OSA Images, Matt Beard Costumes: Kym Barrett © 2010, 2014 Cirque du Soleil © 2015 Fuji Television
P. 31 : フィンセント・ファン・ゴッホ《自画像》1887年 油彩、板に貼り付けたカンヴァス City of Detroit Purchase
P. 31 : Photo courtesy of Nitro Circus
P. 31 : © 2016 フジテレビジョン 小学館 ジェイ・ストーム 東宝 OLM
P. 31 : © 高橋のぼる・小学館
P. 31 : © 2017 フジテレビジョン 東宝 ホリプロ
P. 31 : © 2017 フジテレビジョン 東宝 電通 アルタミラピクチャーズ
P. 33 : © フジゲームス / Alt Plus inc.
P. 33 : © フジテレビ / フジゲームス
P. 33 : © Fuji&gumi Games
P. 34 : © クロムクロ製作委員会
P. 34 : © 寺嶋裕二・講談社 / 「ダイヤのA-S S-」製作委員会・テレビ東京
P. 34 : © 大今良時・講談社 / 映画聲の形製作委員会